

プログラム

ロータリー財団月間に因んで

「ポリオ撲滅まであと一歩」

ポリオプラス地区委員

福澤幹也氏（福井あじさいRC）



ポリオ（脊髄性小児まひ）は、ポリオウイルスによる伝染病です。主に5歳未満の幼児がこの病に冒されます。ポリオは身体を麻痺させ、ウイルスが脳幹に入れば運動ニューロンを侵し、呼吸困難や死亡に至るケースさえあります。ポリオ感染後の後遺症による麻痺障害を治療で治すことはほとんど不可能です。最善の対策は、予防です。@60セント（約¥48）のワクチンで一人の子供をこの疾病から一生守ることが出来るのです。

ポリオ撲滅がされなければ、今後40年間で約1000万人以上の子供達が、この小児麻痺を患うことになると推測されています。

国際ロータリーは、ポリオ撲滅に1985年から取り組んでおり、あと一歩のところに来ています。

これまで百万人以上のロータリアンが122カ国においてボランティア活動を展開して来ています。

国際ロータリー（RI）は、世界保健機構（WHO）、米国疫病対策センター（CDC）、国連児童基金（ユニセフUNICEF）の3機関と協力しポリオ撲滅運動を推進しています。

現在99.5%まで撲滅し残り0.5%を撲滅するために頑張っています。

2650地区では、2012年8月末現在\$356,936（内DDF=\$40,000）の寄付を行いました。あと一歩です。皆様からの寄付をお待ちしております。よろしくお願ひします。

毎年10月24日は「世界ポリオデー」です。

ポリオ撲滅のためにロータリアンの皆様のご協力をお願い申し上げます。

炉辺会合報告

テーマ 武生ロータリークラブの長期計画について(5年後)

第5班 責任者：渡辺佳男会員 発表者：宇野会員

出席者：土田会員・山田会員・米岡会員

田中 茂会員 計6名

まず渡辺責任者より茨木のり子さんの詩「倚りかからず」が紹介され、この中で詠われている精神は我々ロータリーの精神に通ずるところがあると話された。武生ロータリーを省みたと



き、現状は例会や行事が形式化し、前年に倣うという感が強くなっており、我がクラブ創立当時の気概を感じることが少なくなってきている。このような状況を打破するにはどうしたらよいものだろう、そしてこの事を考えることが長期計画に繋がると思う、と話された。

これを受けて出席会員から、様々な行事や行動を起こすに当たって年長会員の応援があるのが素晴らしい、との意見や、世の経済状況などを考えると、We ServeからI Serveへの転換をそろそろ考えても良いのではないかなどの意見が出された。また今後のクラブ活動維持を考えると、新しい人、特に地場企業の人を入会を進めないとクラブが機能不全に陥りかねないし、更には、クラブ規模が小さくなった際には、近隣クラブとの合併を考える必要も出てくると思う。このことなどをもっと真摯に受け止めて考えていかないと、長期計画を立てることは難しいとの考えで一致した。

平成24年度「しくら賞」授与式

平成24年11月10日(土) 武生高校葵講堂

授与式：午後2時30分

第51回 武生ロータリークラブ賞

武生東小学校	小出竜平	南中山小学校	玉村陸人
武生西小学校	岡川颯汰	花筐小学校	清水海晴
武生南小学校	堀 航大	服間小学校	永宮大葵
神山小学校	谷下尚弥	岡本小学校	石川雅晴
吉野小学校	井上慧志	武生第一中学校	山越史也
国高小学校	憂山英高	武生第二中学校	高橋佳弘
大虫小学校	九谷 卓	武生第三中学校	正條達也
王子保小学校	名村敬斗	万葉中学校	夏目理暉
北日野小学校	服部寛正	武生第五中学校	小林大晃
北新庄小学校	土田拳士	武生第六中学校	鈴木章悟
味真野小学校	尾形憲吾	南越中学校	夏目順平
白山小学校	柴田龍樹		



ニコニコ箱 …… 6,000円

- 佐々木会長
- 佐々木弘之
- 林 秀樹
- 田中大成



2012-2013 RI テーマ  
奉仕を通じて平和を



創立/1954年(昭和29年)6月30日  
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内  
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp  
例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館  
会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

2012-2013 第2650地区テーマ  
隔たりをなくそう

第2844回 例会記録 平成24年11月13日(火)

会員総数61名(内出席免除会員8名) 本日出席会員32名

メイクアップ(前々回) 9名

出席率(前々回補正) 72.73%

ロータリーソング「それこそロータリー」

ゲスト ポリオプラス地区委員

福澤幹也氏(福井あじさいRC)

会長挨拶 佐々木会長



ロータリーの特別月間としては、11月は「ロータリー財団月間」でもあります。RI理事会と、管理委員会は、毎月11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも一つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。本日の例会に、ポリオプラス地区委員の福澤幹也氏に「ロータリー財団月間に因んで」という題で卓話を戴きます。

月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他(例えばロータリー財団国際親善奨学生など)が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。財団の奨学金事業、および人道的事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施してほしいと述べています。

私は先日の10日(土)に、武生高校の葵講堂にて行われました、しくら賞授与式に行き参りました。しくら賞とは越前市内の小中学生対象で、社会貢献・リーダーシップ・スポーツ・サイエンス・文化活動の各分野で優秀な子供達を表彰する制度です。

ご存知のように紫式部顕彰会の他、市内のロータリークラブ・ライオンズクラブの5団体が各部門を担当しています。小学校18校、中学校7校の生徒さ

んが対象です。当然該当する生徒さんがいない学校もあります。合計119名が対象者でした。又、特別賞として2団体と2名が受賞されました。皆さん、きらきらと輝いてカメラに収まっていた。

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」

田中作次2012-13年度RI会長のスピーチから

- ・平和をどのように定義するにせよ、平和がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標です。
- ・平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げられるものであります。
- ・「平和」が何を意味しているかは、人によって違いますが、どの定義が正しいとか、間違っているかということではなく、自分にとって平和が意味すること、それがまさに平和なのです。
- ・どんな些細なことでも、人を助けることがいずれは平和につながるのです。
- ・他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思え、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせる事が、できるようになれば、世界に対する見方、関わり方、価値観など、全てが変わるようになります。そして何よりも、平和というものに対する考え方が変わります。

ロータリーのビジネスは、利益の追求ではなく平和の追求です。ですから私たちにとって、報酬はお金を手に入れることではなく、自分の努力によってより良い、より平和な世界が実現するのを見届けることにあります。

今日の一言：

「やってみせ、言って聞かせてやらせてみ、誉めてやらねば人は動かじ。」  
山本五十六